



# 阿見町×SDGs 特集 vol.1



## ～身近な SDGs 始めませんか？～

政策企画課 ☎ 888-1111(216)

### 持続可能な開発目標 SDGs について

2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17の目標・169のターゲットからなり、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。このように、SDGsは地球規模の目標を掲げており、世界中のあらゆる人たちが協力することで、その達成に近づくことができます。

まずは、SDGsという共通目標のもとお互いを受け入れ、同じ課題を持つ人と協力して取り組んでみましょう。



### 身近なSDGs

今回は、17の目標のうち、1～4を紹介

#### 目標1: 貧困をなくそう

- ・「きずなBOX」へ余った食品などを寄付する
- ・ボランティア活動などへ積極的に参加する
- ・被災者等を支援している団体へ募金する(日本赤十字社茨城県支部阿見町分區)
- ・世界の貧困や格差の問題について調べる



#### 目標2: 飢餓をゼロに

- ・農業体験を通じて、野菜作りの大変さを知る
- ・献立を決めてから買い物へ行くようにする
- ・食品を購入する時は棚の手前から取るようにする
- ・「訳あり野菜」を買ってフードロスを減らす
- ・食べきれない生鮮品や残り物は早めに冷凍する



#### 目標3: すべての人に健康と福祉を

- ・人間ドック、健康診断を定期的に受ける
- ・予防接種を受け、感染症対策をする
- ・タバコやアルコールの摂取を控える
- ・近場への移動は徒歩か自転車で行くようにする
- ・帰宅後は手洗いうがいを忘れずにする



#### 目標4: 質の高い教育をみんなに

- ・インターネット等で世界教育の現状を知る
- ・さまざまなジャンルの書物を読む
- ・色々な国の言語について学ぶ
- ・将来働きたい職業や職場について調べる
- ・町の教育関連イベントへ参加する



### 民間の取り組み「きずなBOX」のご紹介

町ではNPO法人フードバンク茨城の活動に賛同し、阿見町総合保健福祉会館『さわやかセンター』1階ロビーに「きずなBOX」を設置しています。社会的支援を必要とする生活困窮者や福祉施設等に食の支援を行っています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

▼寄付できる食品の例：缶詰、レトルト食品、インスタント食品

※常温管理できるもので未開封、賞味期限が2ヶ月以上残っているものをお願いします。なお、生鮮食品は受付できませんので、ご了承ください

ご存じでしたか？身近なSDGs！



検索 ⇒ フードバンク茨城

SDGsに関する情報は町ホームページ「SDGs17の目標 私たちにできること」でご案内しています。右の二次元コードからご覧ください。

